

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

年 月 日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県越前市北府1丁目3-34

氏名 川研ファインケミカル株式会社 福井工場
工場長 高橋 直行

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0778-24-0629

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川研ファインケミカル株式会社 福井工場
事業場の所在地	福井県越前市北府1丁目3-34
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E16 (化学工業)
②事業の規模	4,668百万円 (製品出荷額: 令和4年度実績)
③従業員数	79名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

全社管理責任者 : 環境安全推進室マネージャー
 工場管理責任者 : 各工場の環境安全グループリーダー
 廃棄物の統括責任者 : 環境安全グループリーダー
 廃棄物の管理責任者 : 環境安全グループが指名 (環境安全グループ員)

環境マネジメントシステムで廃棄物管理基準書を作成し、廃棄物の管理、マニフェスト管理、委託業者の選定等について定めている。また、EMS会議において、廃棄物の削減状況、有償化状況について確認している。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
①現状	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	別紙②のとおり		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組)		
	別紙②のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物管理手順書に従って分類し保管場所を定めている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物管理手順書に従った分類・保管を行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
		t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t
		t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
(これまでに実施した取組)		
別紙③のとおり		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
(今後実施する予定の取組) 別紙③の通り		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

<p>④産業廃棄物の一連の処理の工程</p>	<ul style="list-style-type: none">○汚泥 優良認定処理業者へ委託 処理業者へ委託(中間処理後は再利用)○廃油 優良認定処理業者へ委託○廃酸 優良認定処理業者へ委託○廃アルカリ 優良認定処理業者へ委託 処理業者へ委託(中間処理後は再利用)○廃プラスチック類 処理業者へ委託(中間処理後は再利用) 処理業者へ委託(中間処理後は埋立処分)○木くず 処理業者へ委託(中間処理後は再利用)○金属くず 優良認定処理業者へ委託○ガラスくず 処理業者へ委託(中間処理後は再利用) 処理業者へ委託(中間処理後は埋立処分)○管理型混合廃棄物 処理業者へ委託(中間処理後は埋立処分)
------------------------	---

別紙②

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和4年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	管理型混合廃棄物	合計
①現状	排出量		287t	43t	429t	715t	9.1t	3.0t	0.4t	0t	1487t
	（これまでに実施した取組） ・生産量の増加で、廃酸・廃アルカリが増加した。 ・汚泥の排出量が減少した。 ・管理型混合廃棄物が増加した。										
		【目標】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	管理型混合廃棄物	合計
②計画	排出量		273t	41t	408t	679t	9.0t	3.0t	0.4t	0.0t	1413.1t
	（今後実施する予定の取組） ・廃酸、廃アルカリをBOD負荷で分別する取組みを継続して行う。 ・不適合、トラブルによる廃棄物を減少させる取組みを継続して行う。 ・廃棄物の再利用する取組みを継続して行う。 ・汚泥量及び木くずの削減を検討する取組みを行う。										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	がらくず	管理型混合廃棄物	合計	
①現状	全処理委託量	287t	43t	429t	715t	9.1t	3.0t	0.4t	0t	1487t
	優良認定処理業者への処理委託量	231t	43t	429t	715t	6.5t	3.0t	0.4t	0t	1428t
	再生利用業者への処理委託量	132t	4t	422t	639t	9.1t	3.0t	0.4t	0t	1210t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 優良認定業者、再利用業者を優先して処理を委託した。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	がらくず	管理型混合廃棄物	合計	
①計画	全処理委託量	273t	41t	408t	679t	9.0t	3.0t	0.4t	0.0t	1413t
	優良認定処理業者への処理委託量	220t	41t	408t	679t	9.0t	3.0t	0.4t	0t	1360t
	再生利用業者への処理委託量	120t	4t	0t	0t	6.5t	3.0t	0.4t	0.0t	133.9t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 優良認定業者及び再利用業者に優先的に処理を委託し、適正に処理されていることを確認するため定期的に業者訪問を行う。										